

令和6年度（2024年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	令和6年度（2024年度）第4回 宝塚市人権教育推進委員会
日時	令和6年（2024年）10月28日（月）10:00～12:00
場所	宝塚市役所 3B会議室
出席数	<input type="checkbox"/> 宮前委員 <input type="checkbox"/> 能勢委員 <input checked="" type="checkbox"/> 坂本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 伴委員 <input checked="" type="checkbox"/> 岩室委員 <input checked="" type="checkbox"/> 杉村委員 <input checked="" type="checkbox"/> 奥委員 <input checked="" type="checkbox"/> 井上委員 <input checked="" type="checkbox"/> 林委員 <input checked="" type="checkbox"/> 福住委員 <input checked="" type="checkbox"/> 菅委員 <input checked="" type="checkbox"/> 有賀委員 <input checked="" type="checkbox"/> 小玉委員 <input checked="" type="checkbox"/> 川島委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保委員 (■出席／□欠席)
傍聴者	0名

- 1 開 会
- 2 係長あいさつ
- 3 保護者を対象とした人権教育や人権啓発に関する意識調査について
- 4 その他

事務局：それではただ今より第4回宝塚市人権教育推進委員会を開催いたします。開催にあたり学校教育課係長、加藤よりご挨拶を申し上げます。

係 長：本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。前回は地域における人権啓発をどのように進めるかという点につきまして、保護者を対象としたアンケートの検討をしていただきました。本日は実際にスマートフォン等を使ってお答えいただいて、それを基にまた改善を図っていけたらと思っています。本日もどうぞよろしく願いいたします。

事務局：はじめに本日の会議の成立についてですが、定数15名に対し、本日の委員出席は12名（その後1名遅れて参加）ですので過半数を超えており、宝塚市人権教育推進委員会規則第5条第2項の規定により、会議が成立していますことをご報告申し上げます。それではこれからの議事進行につきまして、委員会規則、第5条第1項の規定によりまして、坂本委員長にお願いしたいと思います。

委員長：まず事務局にお尋ねします。この委員会は原則公開ということになっていますが、本日傍聴者はいらっしゃいますか？

事務局：いらっしゃいません。

委員長：わかりました。それでは議事に入らせていただきます。先ほど係長の挨拶にもありましたが、皆さんにご検討いただいたアンケートが出来上がりましたので、今日は実際にアンケートに答えていってもらいながら改善に努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。スマートフォンをお持ちの方はQRコードがありますので、実際にここから入っていただいてお答えいただくという形を取りたいと思っております。時間にして10分から15分くらいと聞いておりますので、その時間を今から取りますのでよろしくお願い致します。

(各自で回答)

委員長：では実際に答えていただいた感想も含めてご意見をいただきたいと思っております。まずは個々の質問

内容ではなく、全体的に何か気になるようなところはありませんでしたか？たとえばチェックするボックスが○のところと□のところがありまして、おそらく□のところは当てはまるもの全部を選ぶと思うのですが、その明記がなかったのも、そこは明記が必要かと思います。

委員：問3だけは、「当てはまるもの全てを選んでください」と書いてありますが、他のところは書いていません。○のところは2つ選んだら1つは消えるのでわかると思うのですが。

委員長：○の所は2つ選んだら1つ消えますが□の所はいくつでも選べたので、それは明記しておいた方が良いと思います。

事務局：今は無制限設定にしまして、無制限にすることで実態がちょっとぼやけることがあるので、できれば2つまでとか3つまでとか限定する方がより傾向として正確なものが出やすいとなっています。この後各質問を見ていただく中で、これだと2つまでとか3つまでとか検討していただけたらと思います。

委員長：それでは質問1「年齢についてお尋ねします」、質問2「どこの学校・幼稚園・保育所に通っていますか。お子さんが複数いる場合は、小学校でお答えください」ですが、ここは大丈夫ですか？

委員：質問2ですが、保育所に通っていますか？とありましたが保育所がなかったように思います。公立の保育所を入れるのかどうかという話はどうなったのかということと、複数子どもがいる場合は小学校で答えるように検討したと思いますが、下の子が私立の小学校に行っていて兄が公立の中学校みたいなご家庭の場合はどう答えたらいいのか？中学校でアンケートをもらってきますが「小学校どこですか？」と言われたら答えるところがないのではないのでしょうか？それであればお住いの小学校区というのに変えた方が良いのではないかと思います。

委員長：保育所はどうなっていますか？

事務局：まだ調整が完了していないので、少しお時間をいただきたいと思います。

委員長：校区のところはどうでしょうか？今、川島委員が言われたように「お住いの小学校区でお答えください」としておく方が良いのではないかと思います。

事務局：お子さんの年齢に関わらず全部小学校区でいくのか、ある程度細かく限定しておくのが良いのかそのあたりはどうでしょうか？

委員：そこは事務局が何を求めているのかで違ってくると思います。小学校、中学校というようにその段階での保護者の意識の実態を調べたいのであればこのままで良いし、その中でカッコ書きにしてたとえば私学に子どもがいる方は、その上の公立に通われているお子さんで答えてくださいという注釈をつければクリアーできるのかと思います。

委員長：ではここは事務局に考えていただくということにしておきます。次は質問3「人権という言葉聞いて、どんなイメージをもたれていますか。当てはまるものを全てを選んでください」ですが、ここが当てはまるもの全てを選んでくださいとなっていますが、分かりにくかったところはないでしょうか。選択肢が多すぎるとか・・・特にご意見がないようでしたら、ここはそのままでもいいと思います。

委員長：次は質問4「個人懇談会を除く、運動会やオープンスクール等の学校行事には参加されていますか」ですが4つ回答がありますが、ここはよろしいでしょうか？

委員：言い方の問題だと思うのですが、②「行けないときもある」とありますが「なるべく行くように

している」という書き方とどちらが良いのかなと思います。

委員長：回答の③と④に「行かない」という表現があるので、②は①に合わせて「なるべく行くようにしている」という書き方が良いと思います。

委員長：それと連動して、質問5「授業参観には参加されていますか」と質問6「人権参観には参加されていますか」の回答②も「なるべく行くようにしている」という書き方に変更します。

委員長：次に質問7「人権参観に参加された理由を教えてください」ですが、チェックのボックスが□ですので、ここも当てはまるもの全てを選ぶのか、2つ3つくらいに限定するのか。選択肢が7つあるので、これはいくつ選んでも良いと思うのですが、どうでしょうか？

事務局：1つだけ回答を選ぶか複数回答を選ぶか、それぞれメリット、デメリットがありますが、選ぶ数も含めて皆さんにご検討いただきたいと思います。質問7は複数回答になっていますが、2つ〜3つまでくらいで限定することも検討していただけたらと思います。

委員長：回答の⑦「質問6で③か④と回答した」を選ぼうとすると、スクロールして上に戻らないといけなくて何か言葉で表した方が良いのではないかと思います。

委員：最後の⑦の選択肢がもしなかったとしたら、「私は、この質問は関係ない」ということで、この質問に答えずに飛ばした場合でも最後に送信はできますか？

事務局：できるだけ無回答を避けたいという思いから、全部を必須にしています。必須にしているの逆のところも押さないといけないという必要が出てきます。

委員：であれば最初にそういう文言を入れてないと「自分は、この質問は関係ない」と思って飛ばしてしまって、最後に気がついて、また戻らないといけなくなります。

委員：質問6に対する質問7・8、質問9に対する質問10・11、質問18に対する質問19・20は、全部最後にどちらかに入れないといけなくなっています。私は「行く」方にしたので、「行かなかった理由」は飛ばしました。最後まで行って「答えが全部できていません」と出ました。だから「行った」という人に「行かなかった理由」を答えなさいというのはおかしいと思います。アンケートでよくありますが、①と答えた人は、次は○番の質問に行ってくださいというような形はできないのでしょうか？

事務局：仕様上は無理なのですが、ここを無回答も可とすれば、押してほしいのに押さないままであるとか、押すのを忘れた人もそのまま見逃してしまうので、必ず漏れなく回答していただきたい場合は、やはり必須にして「私は参加しないの方です」という意志もはっきり示していただかないといけなくなるという、これは仕組みの問題になります。

委員：最初に「必ず全てのアンケートに答えていただかないと最後送信できません」という言葉を入れておかないと、自分的には全部答えたつもりなのにどこが飛んだか分からないです。

委員：「参加している」という人に「参加していない理由を教えてください」という質問はおかしいですね。「参加していない」という人にわざわざ「参加した理由を教えてください」という質問が次に来るのは答える側としては変だなと思います。

委員：回答⑦を最初にもってきてはどうでしょうか。

委員長：回答⑦を回答①にして「参加していないから答えられない」とすれば良いですね。

委員：最初にあれば見逃さないと思います。

事務局：「参加していない方はこちらを選んでください」として回答番号をつけないという方法も可能です。

委員：それならまだ良いと思います。

委員長：では質問7の回答の数ですがどうでしょうか？

委員：ここは複数回答の方が合っていると思います。「子どものために大切だと思うけれども、子どもがどういった教育を受けているかも興味がありますし、それをもとに子どもと一緒に人権について考えよう」ということであれば複数回答になると思います。

事務局：3つくらいが良いのではないかと考えています。5つ回答の選択肢がありますがこれ以外にもあった方が良くと思うものがあればご提示いただけたらと思います。

委員長：ではこの質問の回答は3つを選ぶということと、⑦の回答につきましては、工夫していただけるようお願いします。

委員：質問7で①は「～大切だと思うから」③は「～考えたいから」になっていますが②はただ単に「～興味があるから」ではなく「知っておかないといけない」という思いを親として強く持っていただけだとさらに子どもたちへの教育が充実するのかなと思います。

委員長：「～興味があるから」で終わらせるのではなく変えましょうか？

委員：学校で受ける人権教育の実態を親としては知っておかないといけないことだと思います。

委員：参加した理由なのでそこまで考えずに参加している人もいるでしょうね。

委員：そういう人はここを選ばないでしょうね。

委員：1つ選ぶのであればこれを選ばないでしょうけど、3つまで選ぶとなれば、どんな授業しているのか興味がある人はこれも選ぶかもしれません。こちらとしては知っておいてほしいと思いますが、あまりそれを前面に出してしまうと答えにくくなるかも知れません。

委員長：先ほど語尾を変えたらというお話をさせてもらったのでここは「～興味があるから」を「～知っておきたいから」とか「～知りたいから」に変えると少しニュアンスも違ってくるのかなと思います。

委員：3つまで選べるということですね。1つでも2つでも良いのですね。

委員長：そういうことです。それでは次は質問8「人権参観に参加されない理由を教えてください」についてです。ここも選択肢の⑦を工夫していただくことをお願いします。ここも質問7に合わせて3つまで選ぶことにします。答えにくいような選択肢はありませんか？

委員：③「案内を見たことがない（学校が実施していない）」ですが、実施していない学校があるのですか？

事務局：小学校は全て行っていますが中学校では人権・同和参観と銘打ってやっている学校とやっていない学校があるのが実態です。

委員：この選択肢はもっと後ろの方、⑥の前くらいが良いと思います。

委員長：「案内を見たことがない」を消して、「学校園所が実施していない」に変えましょう。

委員：たとえば質問10の最後で「質問9で③か④と回答した」という選択肢がありますが、③と④で少しニュアンスが違うと思うのです。③は「ほとんど行かない」④は「参加していない」なので③は参加している時もあるというニュアンスなので、そこを並列させるのはちょっと違うのかなと思います。

委員：今のだったら質問6「人権参観には参加されていますか」で、③「ほとんど行かない」を選んで質問7「人権参観に参加された理由を教えてください」にも質問8「人権参観に参加されない理由を教えてください」にも答えることも可能ということですか？

事務局：仕様上は可能です。

委員長：次は質問9「人権参観の後の学級懇談会には参加されていますか」ですがここも②「行けないときもある」を「なるべく行くようにしている」に変更ですね。伴委員から指摘がありましたが、質問では「参加」となっていますが、選択肢では「行く」となっていますので、そこは全て「参加」で統一したいと思います。

委員長：次は質問10「人権参観の後の学級懇談会に参加された理由を教えてください」ですが、まずはここも⑦の回答につきましては、工夫していただけるようお願いいたします。質問11「人権参観の後の学級懇談会に参加されない理由を教えてください」も併せて何かありませんか？

委員長：質問10、11は複数回答になっていますが、3つまで選ぶということによろしいでしょうか？

(特に意見なし)

委員長：では、3つまでということをお願いします。

委員長：次は質問12「家庭で、お子さんと学校やお友だちのことについて話をされますか」です。これは、回答は1つになります。質問13「家庭で、お子さんと人権についての話をする機会がありますか」も含めて何かご意見はありませんか？

委員：文言ですが、質問12の選択肢の④は「しない」ではなくて「していない」ではどうでしょうか？

委員長：そこまでの選択肢が全て「～している」となっていますので、「していない」が良いですね。

委員：「しない」は意志がありますよね。これを選ぶ人の信念を聞いてみたいような気がします。

委員長：次は質問14「家庭で、お子さんから人権について訊かれたらお答えができますか」ですが、何かご意見はありませんか？

委員：全くこういうことに興味のない人の気持ちでアンケートをしてみたら「わからへんやん」という気持ちになりました。分からない場合はどれで答えたら良いのかと思いました。

委員：「できない」が良いですね。言葉に潜んでいる気持ちとかあると思うのですが、そこも含めてこの文言でいけるのではないかと思います。

委員：「できない」を選べなかったのは「できるかどうか分からない」からです。

委員：それでしたら、並列して「できない・分からない」としてはどうでしょうか。

委員：「できるかどうか分からない」は逃げに使われますね。この選択肢があれば、ここに基準を自分でもってくると、これよりはできないという思いがあるからここまでできるかどうか分からないです。

委員長：子どもだから「分からない」でいいのではないかと思います。「十分できる」と「できる」の境目も分からないので、たとえば「できる」にしておいて、「十分できる」は削除して、最後は「分からない」にしてはどうでしょうか。

事務局：集計を取っていくことを見越して、アンケートを取りたいので、自分自身、理解があまりできていないから子どもにできないという答えを選んだ人が、実際研修の機会があれば参加しているのか？というところにクロス集計をかけたいので、その理由が結局「興味がないから」と答えている可能性もあったり「行きたいけど色々な都合で行けない」でも託児があれば行きたいというようなものがあればより良いデータになると思いますので、皆さんが言われているような、自分の理解ができていないから親としてできないというニュアンスがもう少し見えると良いと思います。

委員：「できるとは思うけど自信がない」というのはどうでしょうか。自分では分かっていると思うけど、難しいですね。子どもに向けてですから。人権も幅が広いので、この分野は分かっているけど、分からないこともあるので。

委員長：「自信がない」と「分からない」を入れておいた方が良いと思いますが、「できる」「少しできる」「自信がない」「できない」「分からない」の5つでどうでしょうか。保護者によっては色々な思いはあるでしょうが。

委員：「自信がない」と「できない」は順番を変えた方が良いと思います。

委員長：そうですね。

事務局：「できるかどうか分からない」のか「聞かれる内容によっては分からない」のか、そこが定まってないとブレそうですね。「分からない」が逃げたくなる場所になるのならかえって嫌だなと思います。

委員長：では「分からない」を無くして「自信がない」で止めておく方が良いですね。

委員：「答えられるかどうか（～分からない）」なのか「理解してもらえるかどうか（～分からない）」なのかどちらでしょう。

委員：自分の子どもだからやはり理解させようと思いますね。

委員：「できない」と「自信がない」は意味合いが違うと思います。「できない」というのは「答えない」という意味合いで、「自信がない」というのは、答えたいという気持ちはあるけれど、子どもに言ってもそれが理解されるかどうかがあるので、実際はできていないということなのかと思います。

事務局：クロス集計の話ばかりして申し訳ありませんが、「できる」あるいは「少しできる」と答えている人は、この後の質問である研修の機会に参加している数が多くて、自信がない人ほど機会が少ないという傾向になるかもしれません。

委員長：一旦この質問は保留ということにしましょう。

では質問15「子どもに関する人権問題について、ここ数年間で研修を受けたことはありますか」

にいきます。選択肢は4つあってここは単回答になります。

委員：設問には「ここ数年間で～」とあるのに選択肢に「3年以上受けていない」というのがあるのはおかしいと思います。

事務局：2～3年にしましょうか？

委員：「受けていない」で良いのではないのでしょうか。③もここ数年で「1回程度」ではどうでしょうか。

委員長：今提案がありましたが、③を「ここ数年で1回程度」④は「受けていない」というふうにしましょうか。

委員：③についても「1回程度」ですね。

委員長：③は「1回程度」、④は「受けていない」とします。では次に質問16「子どもに関する人権問題について、研修会や講演会に参加したいと思いませんか」にいきます。選択肢は3つあります。どうでしょうか？

委員：②は「仕事等により自分の都合がつかないので、参加したいが参加しにくい」と長く書いてもらっていますが「都合がつけば参加したい」ではどうでしょうか？

委員長：では②は「都合がつけば参加したい」にしたいと思います。次は質問17「学校で夏休みの期間に人権作品の募集をしていることをご存知ですか」にいきます。ここは「知っている」「知らない」のどちらかを選ぶのでここはこれで良いと思います。次は質問18「人権作品の募集は市民にも参加を呼び掛けています。ご存知ですか」にいきます。選択肢は4つあってここは単回答になります。どうでしょうか？特に意見がなければこれでいきたいと思います。

委員長：次は質問19「人権作品を応募した（応募したい）理由を教えてください」ですが、選択肢が①から⑧まであります。⑧はまた工夫がいろいろあります。

委員長：⑧は、質問18で「応募したことはない」と答えた方が選ぶ選択肢にします。あと、①の「自宅でも気軽に参加できるから」という意味がよく分からないのですが。

事務局：「自宅でも」を「個人でも」に変えます。

委員長：ここは当てはまるもの全て選ぶということで良いですね。次は質問20「人権作品を応募しない理由を教えてください」ですがここは複数回答で良いですね。

委員：一般の人が簡単に応募できるようにはなっていないですね。応募しようとしても大変ですよ。

事務局：ホームページと市の広報に要項を掲載しています。

委員：それくらいしかないですね。全戸数に配布することができないので、役員には間に合えば渡しますが、全部郵送しないといけないので、できないことの方が多いです。

委員：一般の人が簡単に応募できるようになれば良いですね。市役所とかあいあいパーク、公民館のような場所に応募箱があって、そこに入れたら良いみたいなことがいいですね。出してもらいやすいような工夫をしないといけないですね。

委員長：ここは複数回答になっていますが、いくつくらい選ぶようにするのが良いですか。質問19がい

くつ選んでも良かったので、質問20も同じようにしてよろしいですね。

委員長：次に質問21「学校で行われる保護者や地域の方を対象にした人権に関する研修会や学習会などに参加されたことはありますか」ですが、ここは「ある」「ない」で答えるのでこれで良いですね。次は質問22「参加された理由を教えてください」で選択肢が7つありますが、最後の選択肢はまた分かるように変えてください。回答の数はいくつが良いですか？

委員：事務局としてはいかがでしょうか？

事務局：2つか3つくらいが良いと思います。

委員長：では3つまで答えるということにしたいと思います。次に質問23「参加しない理由を教えてください」ですが、ここも一番上に参加した人はチェックしてもらって、その他の人は、質問22に合わせて、3つまで選んでもらうようにします。文言は大丈夫でしょうか。

委員：②の「子どもが下校してくるから」は「子どもが家にいるから」に変えた方が良いでしょうね。

委員長：次は質問24「宝塚市教育委員会が主催の事業は、市内3か所にある人権文化センターでも行っています。人権文化センターの場所をご存知ですか」ですが、ここはどうでしょうか？選択肢は①「知っている（1か所以上）」②「知らない」となっています。

委員：人権文化センターがあるということに気づいてもらうのであれば、名前は書いた方が良いでしょうと思いますが、名前イコール場所という感じで書いてないのでしょうか？

委員：場所を知っていることを知りたいのか、知っていることを知りたいのかどちらでしょうか？

委員：ネットで人権文化センターの場所を調べるわけですね。それが広がってきて差別的なことが起こっている事実があります。それが良いのかということになると、もう名前は出さないでほしいと当事者はそう言いますね。差別をする側の差別の再生産に繋がっていくのでそれは避けたいと思います。

委員：確認ですけどこの質問は、場所を知っているかどうかを知りたいわけですね。3つの場所を知っているかどうかですね。

委員：事務局が何を聞きたいかですね。場所を知っていることを聞きたいのか、3つの人権文化センターがあることを聞きたいのかということですね。

委員長：「人権文化センターの場所をご存知ですか」を「人権文化センターをご存知ですか」に変えます。次に質問25「人権文化センターに行ったことはありますか」ですが「ある」「ない」で答えます。

委員長：時間も来ましたので、質問26からの検討は次回にしたいと思いますが、地域版のアンケートを作成するかどうかはいかがでしょうか？

委員：地域対象のアンケートを実施するのかどうかを決めないと先に進まないですね。

委員：宝塚市の市民アンケートは行うのですか？

委員：まだ2～3年先と言っておられました。

委員：地域対象のアンケートの話になった時に実施する方法として、まち協であったり自治会であった

りに依頼するような話が出ていたと思いますが、そうすると、保護者と違って、できない所、できる所が出てきます。私個人の話になってきますが、自分のまち協へ行って、それが本当に実施できるかどうかというところが、なかなか難しいと思うと、地域へのアンケートは難しいのではないかと思います。ホームページに掲載していただいて、できる限り地域に関わっている方に答えてもらうとか何かそういうしっかりした母体があってアンケートを実施するというのであれば、できるのかなと思います。各自みなさんの団体でやってくださいというのは違うと思います。

委員長：前回の時に民生児童委員連合会では協力していただけるというお話をしていただいていますので、自分の組織であればできるかどうかを予め聞いて、それを持ってきてもらうとありがたいという話で前回は話をしていると思いますが、どうでしょうか？

委員：そこで協力できる所と協力できない所がまばらに出てきても、それは問題はないということですか？

委員：アンケートを取ることはすごく大事だと思いますが、協力できる所、できない所としていたら、本当にデータの欲しい一般の方というのか、どこにも所属していないような方の意見が欲しいわけで、そのためのアンケートだと思うので、それは取り方がすごく難しいので、そこを考えないとせっかくやっても答えの分かるようなアンケートになってしまわないかと心配します。取り方が難しいと思います。

事務局：自治会で、もし実施するという場合は、自治会の役員さんを取っていただくというよりは、自治会の会員さんに協力していただくのがベースになると思います。

委員：自治会もいくつかに分かれていたり、入ってないところもあります。

事務局：前回の委員会でご意見いただいたのは、あくまでご自分の組織で内々で調整するというのでしたので、市としてどこか大きな団体をお願いするのではなく、あくまでご自身の所属する母体が前提になると思っていました。

委員：そういう意見が出ていたので、私の中ではそれで本当に良いのかどうかということと、それだったらちょっとアンケートは難しいのかなと思って、言わせていただきました。

委員：第5地区でしたら民生委員が43人いて、それに自治会とかまち協とかを入れて分母がいくつくらいになるのか。多ければ多い方が良いのか。そうすると第5地区であれば、自治会とまち協には民生委員から持って行くことはできると思います。宝塚には社協さんのサロン活動もありますので、そこに持って行けば分母も増えるのではないかと思います。

委員長：時間になりましたので、次回はアンケートの検討が終わってから具体的に話を進めたいと思いますので、もしアンケートを実施するのであればこんな質問があったら良いというようなものを考えて来ていただいて、次回に検討していきたいと思います。それではこれで第4回人権教育推進委員会を終了させていただきます。次回の日程は11月27日水曜日、10時からこの市役所3階のB会議室で行いますのでよろしくお願いたします。